

A……15
住吉神社
クスノキ



下松屋町通中堂寺東入
藪之内町
高さ 15.0m 枝張 17.0m
幹周 1.71m
くすのき科 / 常緑高木

神社の鎮守の森の中心的大木で、氏子からも大切にされています。クスノキは、日本の常緑樹のなかでは最大といわれ、30m以上に生長するものもあります。虫がつきにくいので、古くから神社仏閣の御神木とされてきました。常緑樹ですが、春先になるといっせいに古い葉を落として新葉に変わり、明るい雰囲気を漂わせます。

A……16
慈雲寺
クスノキ



下松屋町通花屋町上ル 藪之内町
高さ 9.5m 枝張 7.0m 幹周 2.11m
くすのき科 / 常緑高木

枝は切りつめられていますが、葉をよく繁らせています。

A……17
西新屋敷中之町
エノキ



西新屋敷中之町(坊城通花屋町上ル)
高さ 22.0m 枝張 12.3m 幹周 3.03m
にれ科 / 落葉高木

当地は歌舞練場跡であるが、この木はそれ以前にあった稻荷社からのものです。

A……18
西新屋敷下之町
イチヨウ



西新屋敷下之町
(花屋町通千本西入ル)
高さ 22.0m 枝張 18.5m
幹周 3.95m
いちよう科 / 落葉高木

現在でもこの近くにある住吉神社は、1732年に建立されました。その境内地は広く、この場所も含まれていました。神社は1868年に廃社となり、1903年に再興されました。しかし、その境内地は元通りではなく、このイチヨウを含む一帯は、神社の外として取り残されました。

このイチヨウは、いまでは幹の直径が1mを超える大木に育ち、道路を覆う雄大な姿となっています。根元には弁財天の祠(ほこら)があり、地域の人びとに守り育てられています。